令和７年度　江東区立砂町小学校　経営計画

校長名　　齋藤　克人

Ⅰ　教育目標

○すなおな子　　◎思いやりのある子　　○たくましい子　　○よく考える子

Ⅱ　経営方針

目指す学校像	○児童にとって・・・毎日笑顔で過ごせる学校 ○保護者にとって・・・安心して子どもを託せる学校 ○地域にとって・・・誇りに思い，共に歩める学校 ○教職員にとって・・・やりがいを感じられる学校
目指す児童像	○すなおな子・・・物事に感動し，思ったことや感じたことをすなおに表現できる子 ◎思いやりのある子・・・自他を大切にし，思いやりや豊かな感性のある子 ○たくましい子・・・強い心をもち，運動に親しみ，目標達成に向けて取り組む子 ○よく考える子・・・自らよく学び，考え，正しく判断し，解決する子
目指す教師像	○「こどもまんなか」に基づき，児童を優先にする教師 ○児童理解に努め，豊かな心や規範意識を育てる教師 ○だれ一人置き去りにせず，分かる授業の実践に努める教師 ○誇りと使命感をもった，プロ意識のある教師 ○研修に励み，学び続ける教師
経　営　理　念	開校１３４年という歴史と伝統の重みによって培われた建学の精神を継承し，時代と社会の変化に順応しながら，新たな歴史を創造していく学校づくりに努める。また，思いやりをもって，認め合い，高め合いながら，すべての児童が自己の目標に向かって努力する学校を目指す。 教職員の協働によって教育目標を達成していける学校経営を進める。 〔学校経営方針〕 （1）目指す児童像の追求，徹底 ○重点項目に掲げている「思いやりのある子」の育成に向けて，教職員が一丸となり，道徳学習の充実や心を育てる教育活動の推進に取り組む。 （2）目指す教師像の追求，徹底 ○「こどもまんなか」の理念に基づき，児童の努力を認め，褒め，意欲を喚起するとともに，チャレンジ精神をもって常に学び続ける姿勢で教育活動に取り組む。 （3）学年・学級・専科経営の充実 ○居場所のある学年・学級づくりを心がける。 （4）児童理解に基づく授業改善の推進 ○問題解決型学習を推進し，主体的・対話的で深い学びとなる授業づくりに努めるとともに，個別最適な学びと協働的な学びを実現する。

Ⅲ　経営目標

重点領域１	豊かな心の育成
中期経営目標	自他のよさに気付き，互いを認め合い，協働できる子を育てる。
短期経営目標	○あいさつ活動を通して，コミュニケーション能力を高める。 ○すべての教育活動，特に道徳教育を通して，規範意識を高める。 ○「いじめは絶対にあってはならない」という意識を高める。

項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	「いつでも」「どこでも」「だれとでも」を意識したあいさつ活動に１００％取り組む。	アンケート調査等によって，すすんであいさつすると回答する児童を９５％以上にする。
2	年間を通して道徳教育を重視するとともに，集団の中で安心できる規範意識を育む。	アンケート調査等によって，「友達との関わりの中で楽しく過ごせるように協力している」と回答する児童を７５％以上にする。

Ⅲ　経営目標		
3	いじめに関する授業を年間３回実施し，いじめ問題の未然防止・早期発見に努める。	定着度調査で「いじめは絶対にしてはいけない」と回答する児童を１００%にする。

重点領域２	確かな学力の定着	
中期経営目標	主体的・対話的で深い学びに向け，規律ある学習集団を築き，基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図るとともに，学びに向かう主体性を育む。	
短期経営目標	○「こうとう学びスタンダード～ネクストステージ～」の確実な定着を図る。 ○すべての教科でＩＣＴを活用した授業を展開し，思考力・判断力・表現力を高める。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	「学び方スタンダード」の定着を意識した授業を日常的に行い，学習規律を確立する指導を心がける。	アンケート調査等によって，「学び方スタンダード」を守って学習していると回答する児童を７０%以上にする。
2	ＩＣＴを活用した授業を毎日取り入れ，授業改善に努める。	アンケート調査等によって，「ＩＣＴを使った授業が楽しい」と回答する児童を８５%以上にする。
3	家庭学習（１０分×学年）の定着に向け，家庭への啓発と児童への指導を行う。	アンケート調査等によって，「１０分×学年」の家庭学習に取り組んでいると回答する児童を８５%以上にする。

重点領域３	確かな体力の向上	
中期経営目標	体育授業や体育的な活動を充実させ，運動の楽しさや喜びを味わうとともに，健康的な生活や運動に親しみ，身体を動かす習慣の形成・定着を図る。	
短期経営目標	○体力スタンダードの意図的・計画的な実施を心がけ，体育授業を充実させる。 ○児童が主体的に取り組む環境づくりを推進し，健康的な生活への意識を高める。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	体育授業の改善に努め，授業の中で「わくわくタイム」を１００%実施する。	アンケート調査等によって，「わくわくタイムにすすんで取り組んでいる」と回答する児童を９５%以上にする。
2	児童に生活習慣の改善を意識させるとともに，「早寝，早起き，朝ご飯」を８５%以上定着させる。	アンケート調査等によって，「早寝・早起き・朝ご飯が定着している」と回答する児童を８５%以上にする。
3	体力向上にむけた様々な活動の中に「ＩＣＴを活用した内容」を８０%以上取り入れる。	アンケート調査等によって，「体力向上の活動を楽しみにしている」と回答する児童を８５%以上にする。

重点領域４	地域に根ざす学校づくり・保護者との連携	
中期経営目標	地域・保護者が信頼を寄せ，誇れる学校を築く。	
短期経営目標	○各種便りやＨＰ，会合等で積極的に情報を発信し，開かれた学校づくりを推進する。 ○学校評価を改善し，その結果を教育課程に反映させる。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	各種便りやホームページ，会合等で積極的に情報を発信し，教育活動の見える化を図る。	アンケート調査等によって，「学校は積極的に情報を発信している」と回答する保護者を９５%以上にする。
2	学校評価を改善し，その結果を教育課程に反映させる。	アンケート調査等によって，「学校は改善されている」と回答する保護者を８５%以上にする。
3	情報を発信する際，積極的にＩＣＴを活用し，スマートな発信を工夫していく。	アンケート調査等によって，「登下校を含め，安全に気を付けて学校生活を送っている」と回答する児童を９５%以上にする。